

災害福祉の「自分ごと化」に向けた取組



課題

近年の大規模災害では、避難生活の長期化が社会問題化している。災害時の医療体制に比べ福祉分野では、人材や連携不足が依然として課題であり、民間企業・NPO等、様々な主体との協働によって災害福祉を「自分ごと化」し、平時からの体制整備を進めていきたい。

Before



災害時要配慮者が避難生活により、健康状態が悪化する。災害福祉の必要性や具体的な取組を知る機会が少ない、適切な関与方法がわからないetc.....

After



「災害福祉」の普及啓発活動、実践を通じて、**各主体による自助・共助を促進し、災害福祉の「自分ごと化」へ繋がります！**

いただきたい提案の例

災害福祉の普及啓発に係る幅広い取組



地域コミュニティ活動に防災の要素を取り込む
災害福祉を日常の中で意識できるよう、日頃関与していない人でも学べる取組



避難訓練へのリソース提供やプログラム提案
運営主体としての実施や場所・リソースの提供などで各主体との連携を強化する取組

※あくまで一例のため、これに限らず幅広い提案をお待ちしています。